

2020年9月期 決算発表



琉球銀行

琉球銀行グループ
BANK OF THE RYUKYUS GROUP

第29回(2020年度)りゅうぎん紅型デザインコンテスト 大賞
「悠久の海」山城 美枝

決算の概要(単体)

経常収益の減少と新型コロナの影響によるネット与信コストの増加により減益。

(億円)

| | 2020年9月期 | | 2019年9月期 |
|----------------|----------|-------|----------|
| | | 前年同期比 | |
| 経常収益 | 188 | ▲29 | 217 |
| 業務粗利益 (a) | 154 | ▲7 | 161 |
| 経費 (b) | 125 | 3 | 122 |
| 実質業務純益 (c=a-b) | 29 | ▲10 | 39 |
| ネット与信コスト (d) | 13 | 12 | 1 |
| その他臨時損益 (e) | ▲2 | 2 | ▲4 |
| 経常利益 (f=c-d+e) | 14 | ▲20 | 34 |
| 中間純利益 | 9 | ▲14 | 23 |

※前年同期比は表上計算

決算の概要(連結)

連結ベースにおいても、銀行単体の影響で減益。

(億円)

| | 2020年9月期 | | 2019年9月期 |
|---------------------|----------|-------|----------|
| | | 前年同期比 | |
| 経常収益 | 290 | ▲27 | 317 |
| 経常費用 | 267 | ▲7 | 274 |
| 経常利益 | 23 | ▲19 | 42 |
| 親会社株主に帰属する 中間純利益 | 14 | ▲14 | 28 |

※前年同期比は表上計算

損益推移ダイジェスト(単体 2017/9～2020/9)

(百万円)

| | 2017/9 | 2018/3 | 2018/9 | 2019/3 | 2019/9 | 2020/3 | 2020/9 | 前年同期比 |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 顧客向けサービス利益※1 | 1,593 | 1,802 | 1,353 | 2,119 | 1,705 | 1,914 | 1,617 | ▲88 |
| うち預貸金収支※2 | 10,970 | 10,920 | 10,918 | 11,360 | 11,313 | 11,524 | 11,530 | +217 |
| うち役務利益※3 | 2,561 | 2,716 | 2,617 | 2,730 | 2,731 | 2,669 | 2,777 | +46 |
| うち経費 | ▲11,938 | ▲11,834 | ▲12,182 | ▲11,971 | ▲12,339 | ▲12,279 | ▲12,690 | ▲351 |
| 市場部門損益 | 3,075 | 1,862 | 2,602 | 636 | 1,923 | 131 | 997 | ▲926 |
| 証券国際部門損益 | 2,738 | 1,687 | 2,110 | ▲265 | 1,698 | 80 | 720 | ▲978 |
| うち外為・商品売買損益 | 212 | ▲248 | 782 | 39 | 107 | 42 | 60 | ▲47 |
| うち債券5勘定戻 | 103 | 284 | ▲73 | ▲96 | 672 | ▲251 | 173 | ▲499 |
| うち株式3勘定戻 | 965 | 158 | ▲18 | ▲712 | ▲320 | ▲769 | 19 | +339 |
| 政策投資関連 | 336 | 175 | 492 | 901 | 224 | 52 | 277 | +53 |
| 与信コスト関連 | 222 | 1,586 | ▲126 | 343 | ▲103 | ▲766 | ▲1,330 | ▲1,227 |
| うち一般貸倒引当金繰入 | 26 | 824 | ▲557 | ▲87 | ▲57 | ▲1,534 | ▲864 | ▲807 |
| その他・法人税等 | ▲1,377 | ▲937 | ▲947 | ▲606 | ▲1,134 | 339 | ▲373 | +761 |
| 税引後純利益 | 3,513 | 4,313 | 2,882 | 2,492 | 2,391 | 1,618 | 911 | ▲1,480 |

※1 顧客向けサービス利益=預貸金収支+役務利益-経費

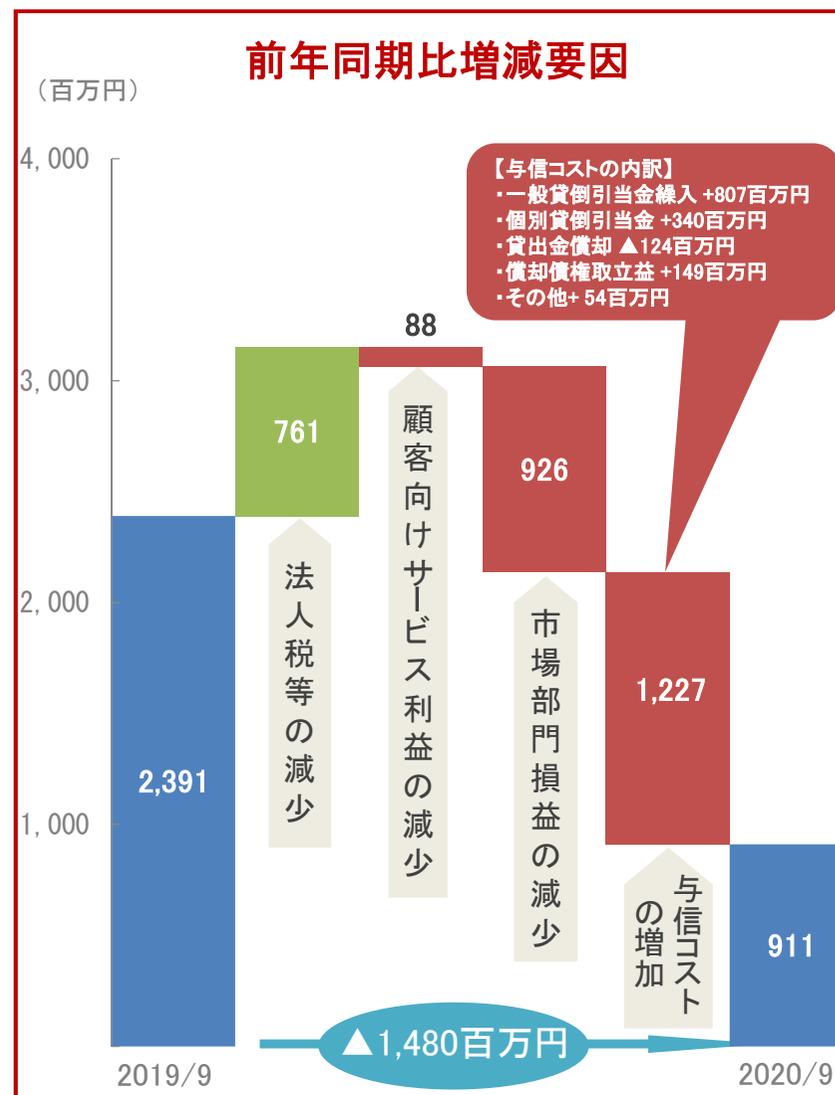
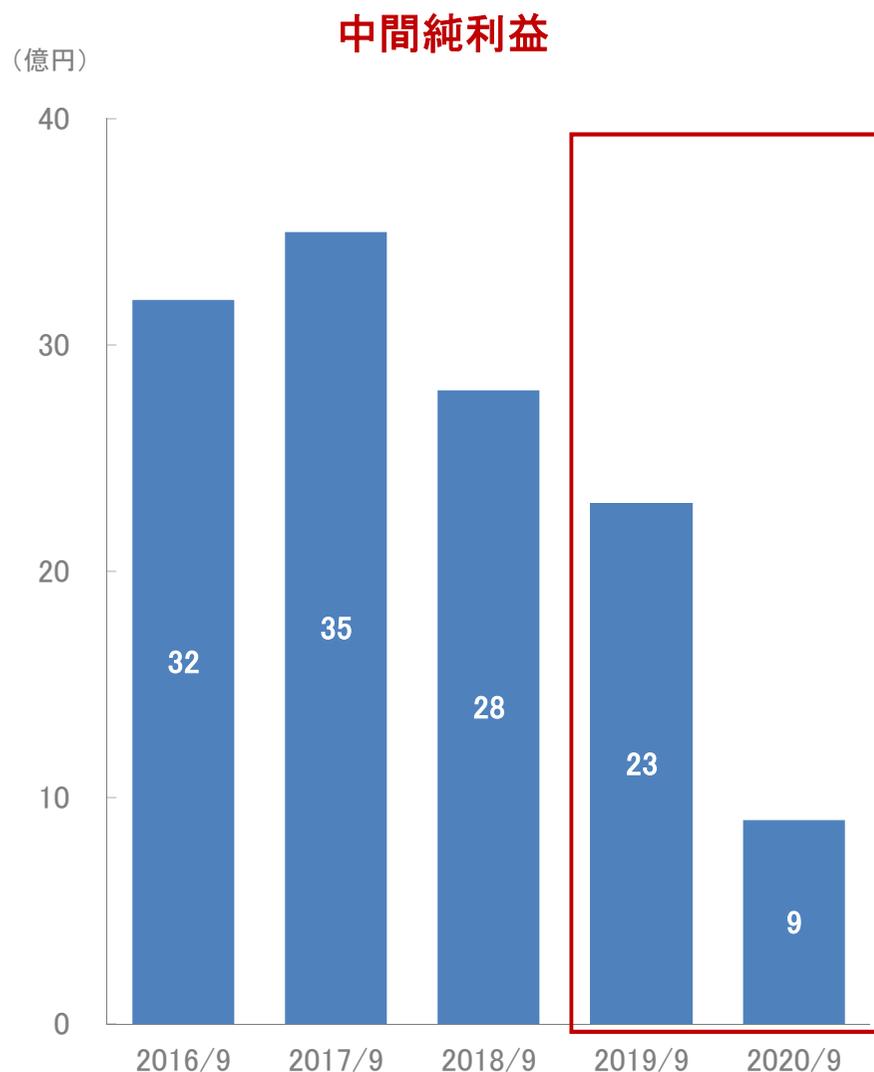
※2 預貸金収支(ローン関係手数料含む。預金利息は資金スワップ収益を加味した実質ベース。)

※3 役務利益(ローン関係手数料除く。)

※4 一般貸倒引当金については、繰入は負の表示、戻入は正の表示。

2020年度中間期の損益状況

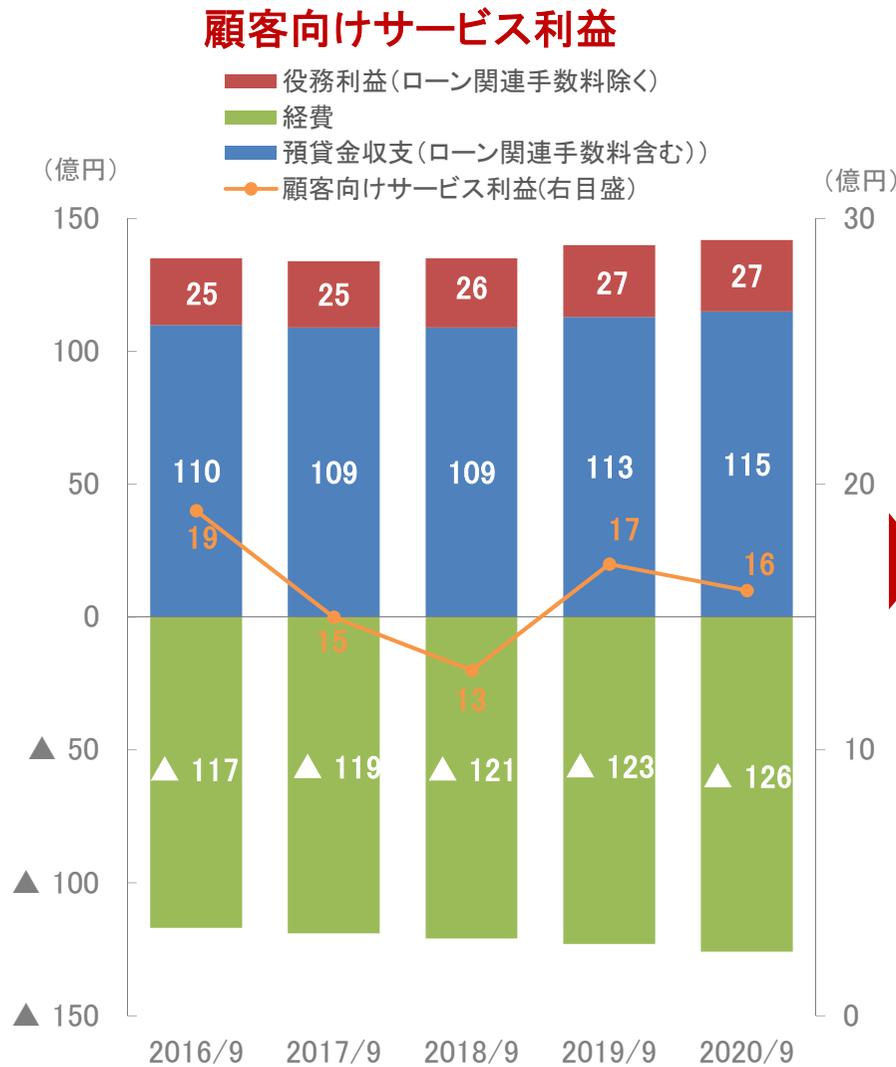
新型コロナの影響に伴う与信コストの増加等により中間純利益は減益。



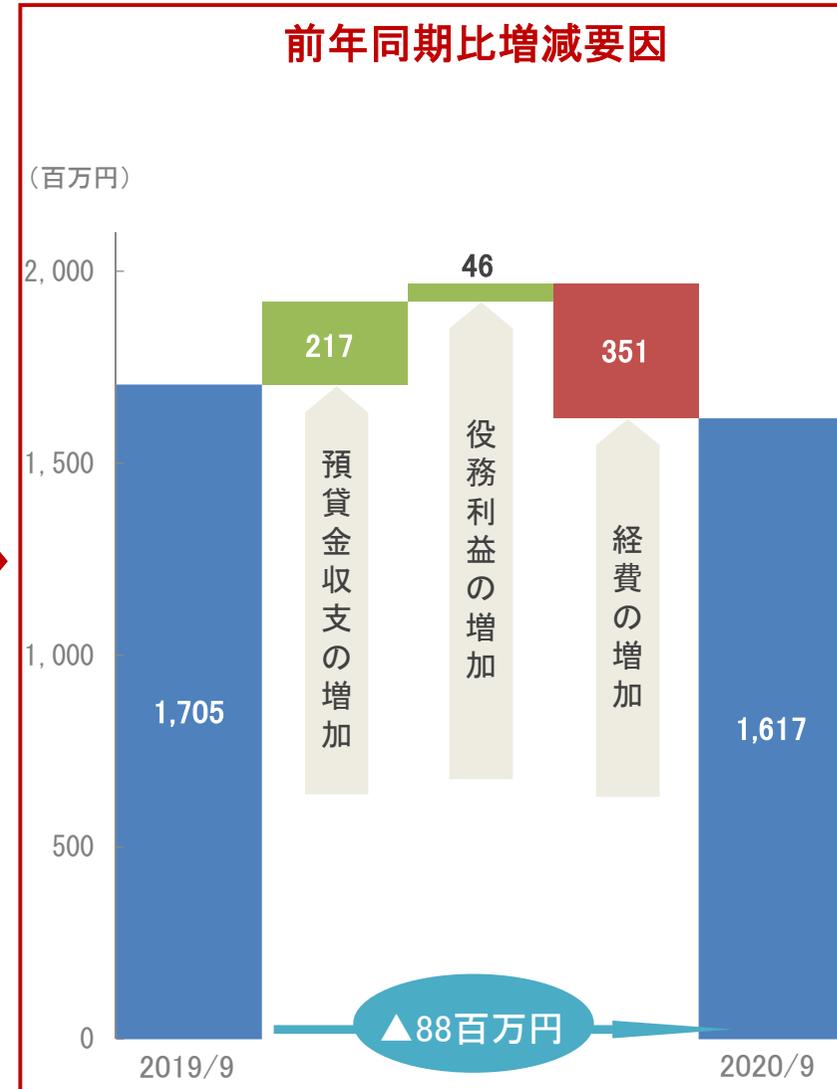
※ 法人税等の減少の項目は、その他損益の増減を含む。

顧客向けサービス利益

預貸金収支、役務利益は増加するも、経費の増加により減益。

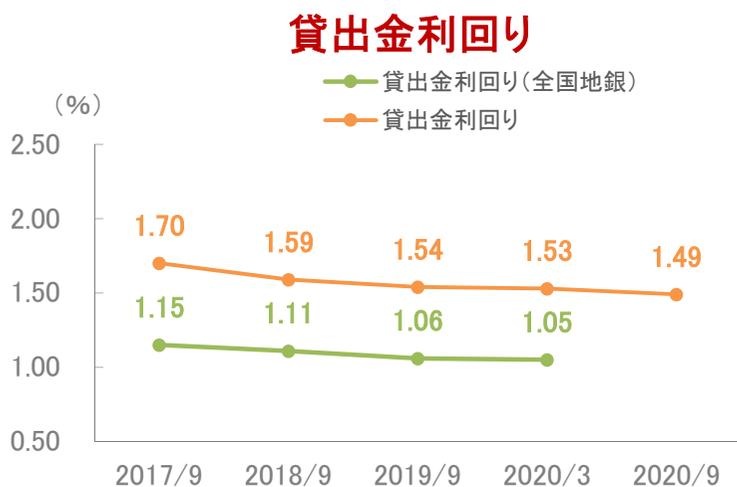
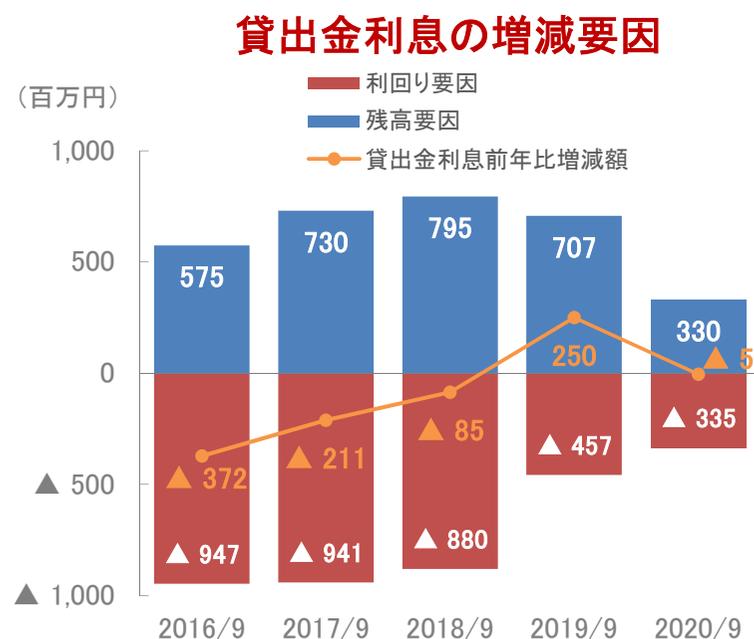
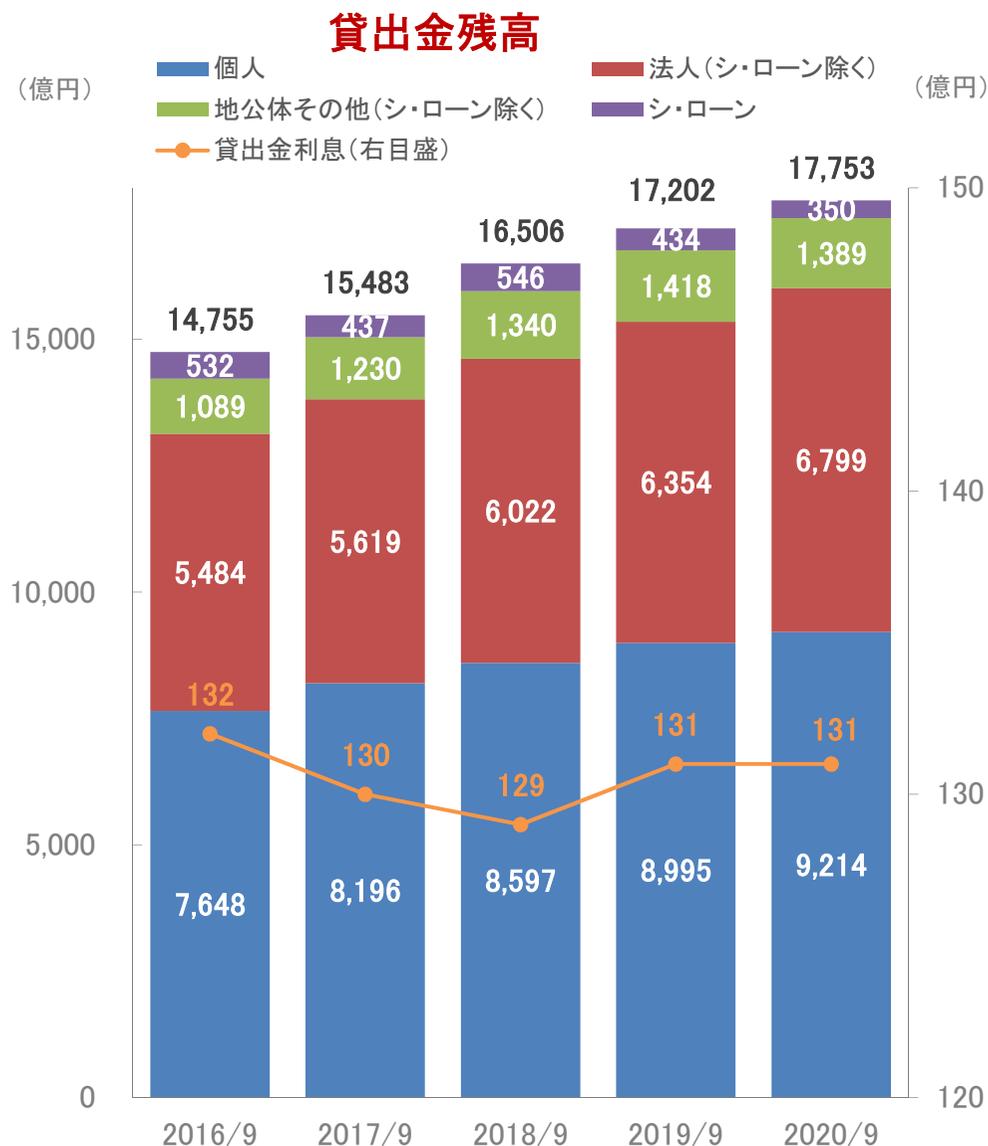


※ 顧客向けサービス利益=預貸金収支+役務利益-経費
 ※ 預貸金収支のうち、預金利息は資金スワップ収益を加味した実質ベース。



貸出金

新型コロナ関連の資金繰り支援等により残高は増加。セーフティネットの増加により利回りは低下。

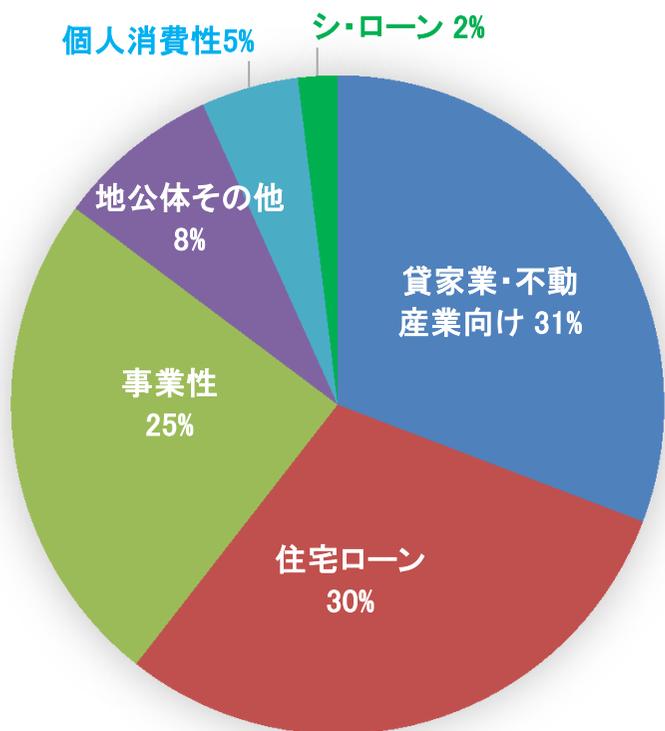


※ 貸出金利息については、ローン関係手数料(消費者ローン保証料、団信保険料)を控除。

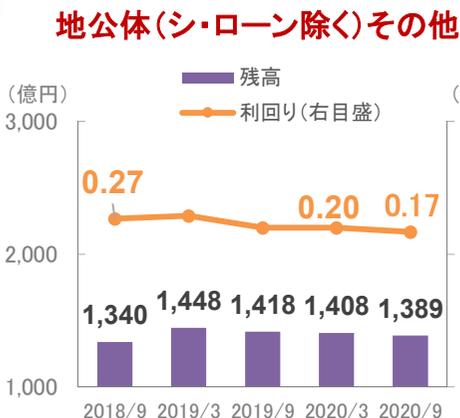
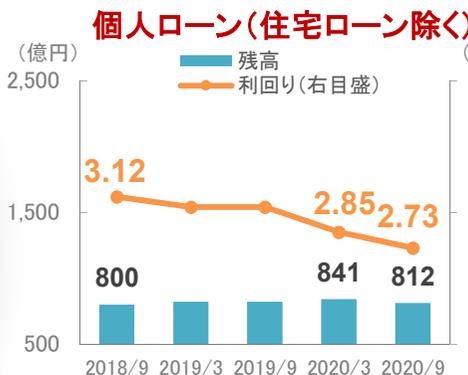
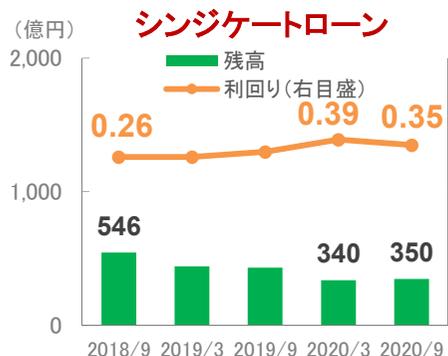
貸出金

新型コロナ関連の資金繰り支援等により事業性貸出を中心に残高は順調に増加。

貸出金用途別残高割合



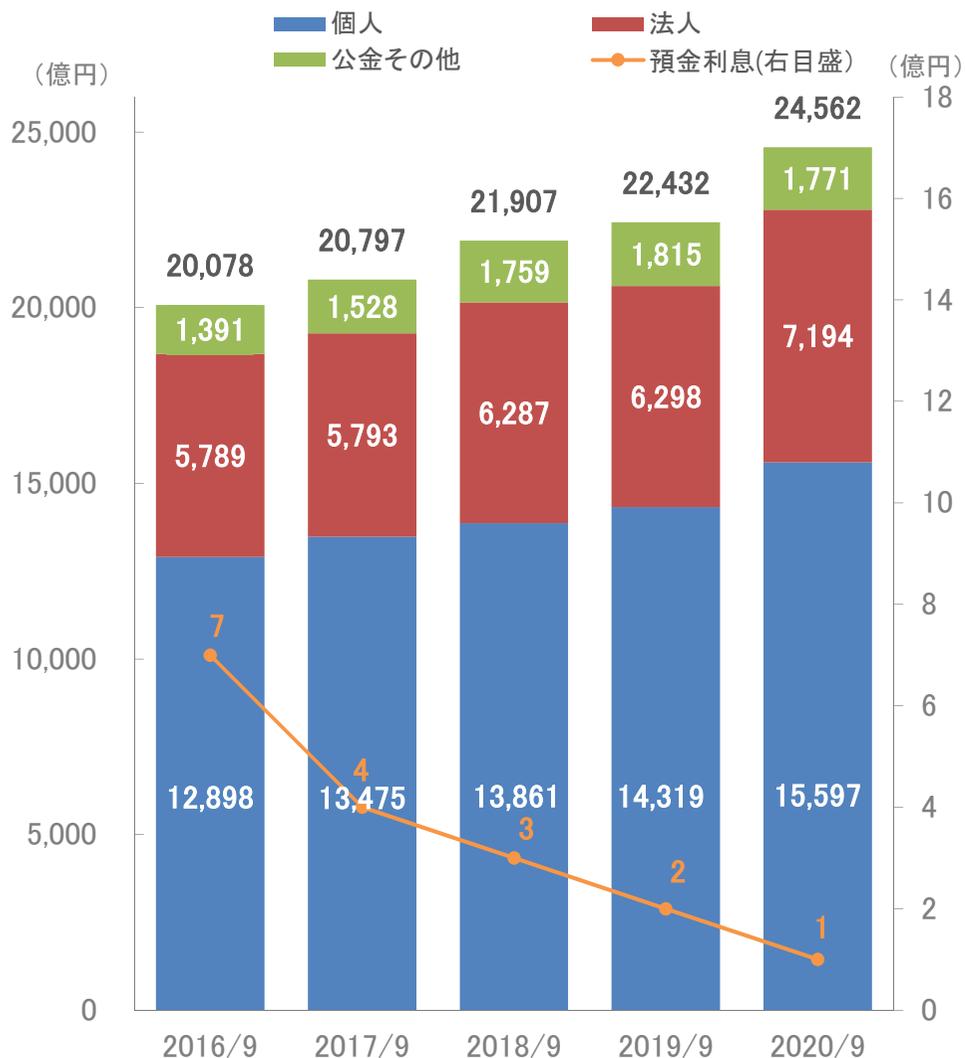
※ 利回りの計算については、ローン関係手数料(消費者ローン保証料、団信保険料)を控除。



預金

新型コロナ関連の資金繰り支援や定額給付金の支給等により残高は大幅に増加。

預金等残高



※ 譲渡性預金を含む。

預金利回り



流動性、定期性預金平残



※ 譲渡性預金を除く。

メイン口座数

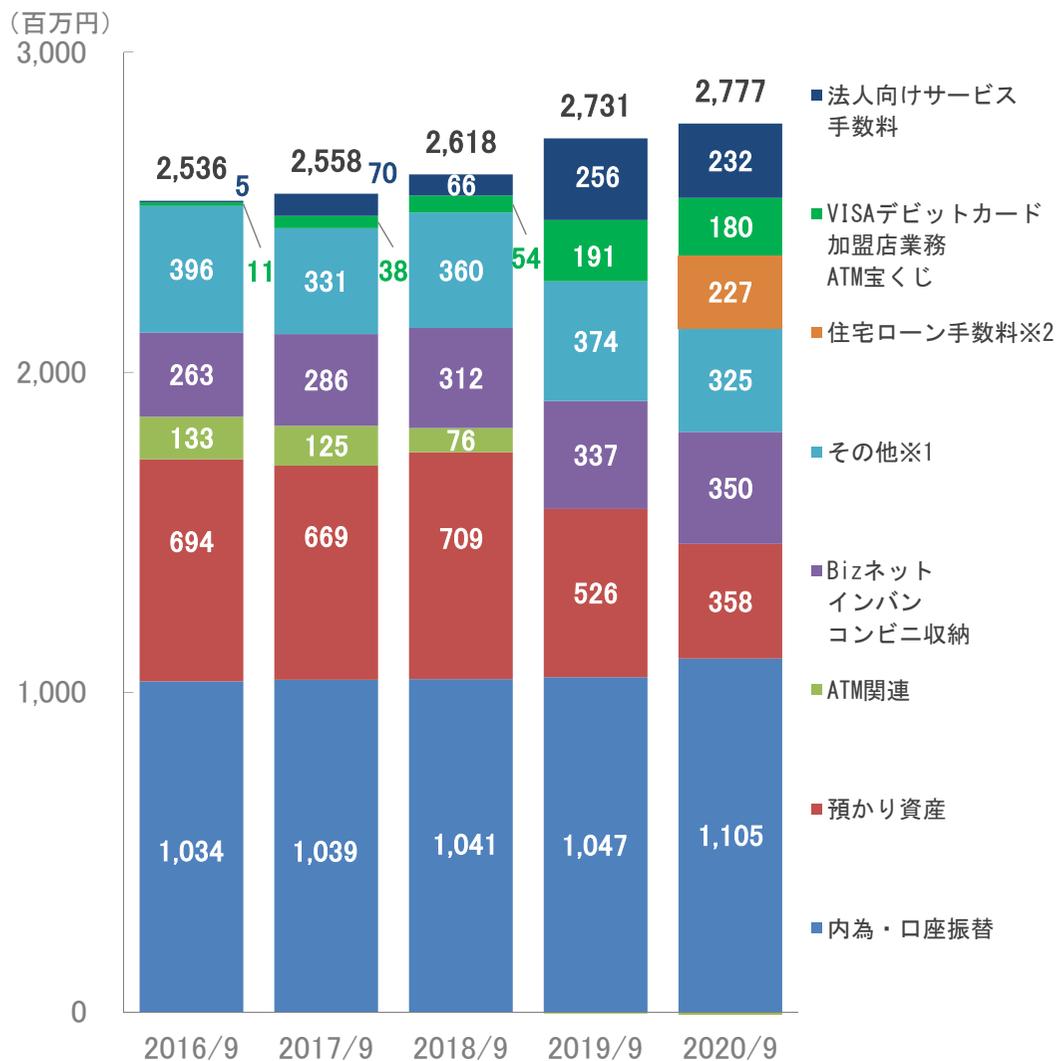


※ メイン口座とは、「給振」、「年金」または「住宅ローン」取引のいずれかに加え、一定のサービス・商品のご利用がある個人口座。

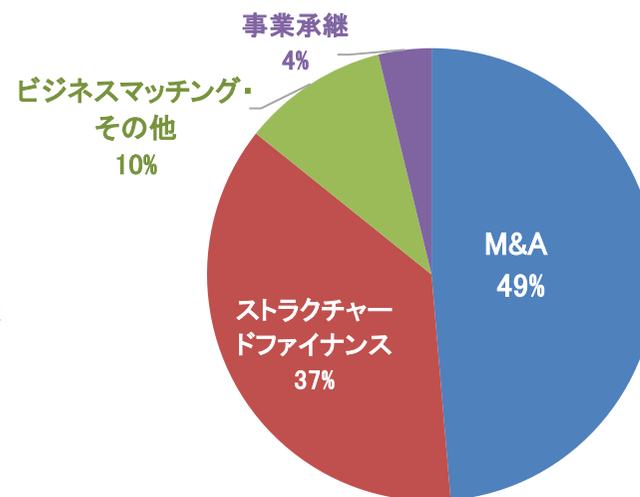
役務利益

新型コロナの影響により預かり資産、カード、法人手数料は減少。住宅ローン手数料が伸び増益。

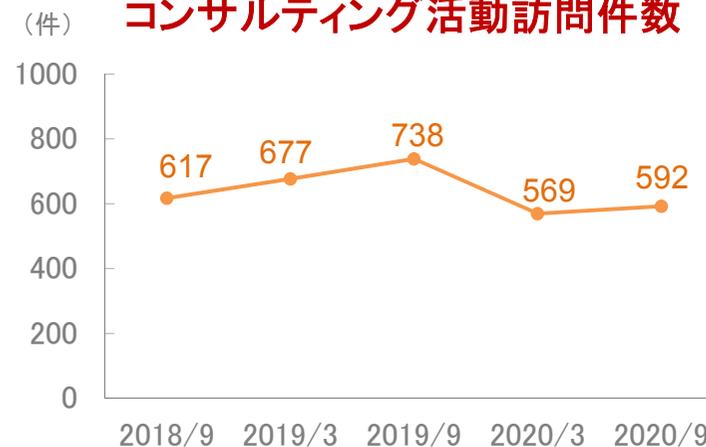
役務利益の推移(団信保険料、ローン保証料除く)



法人ビジネス部門別収益割合実績



コンサルティング活動訪問件数



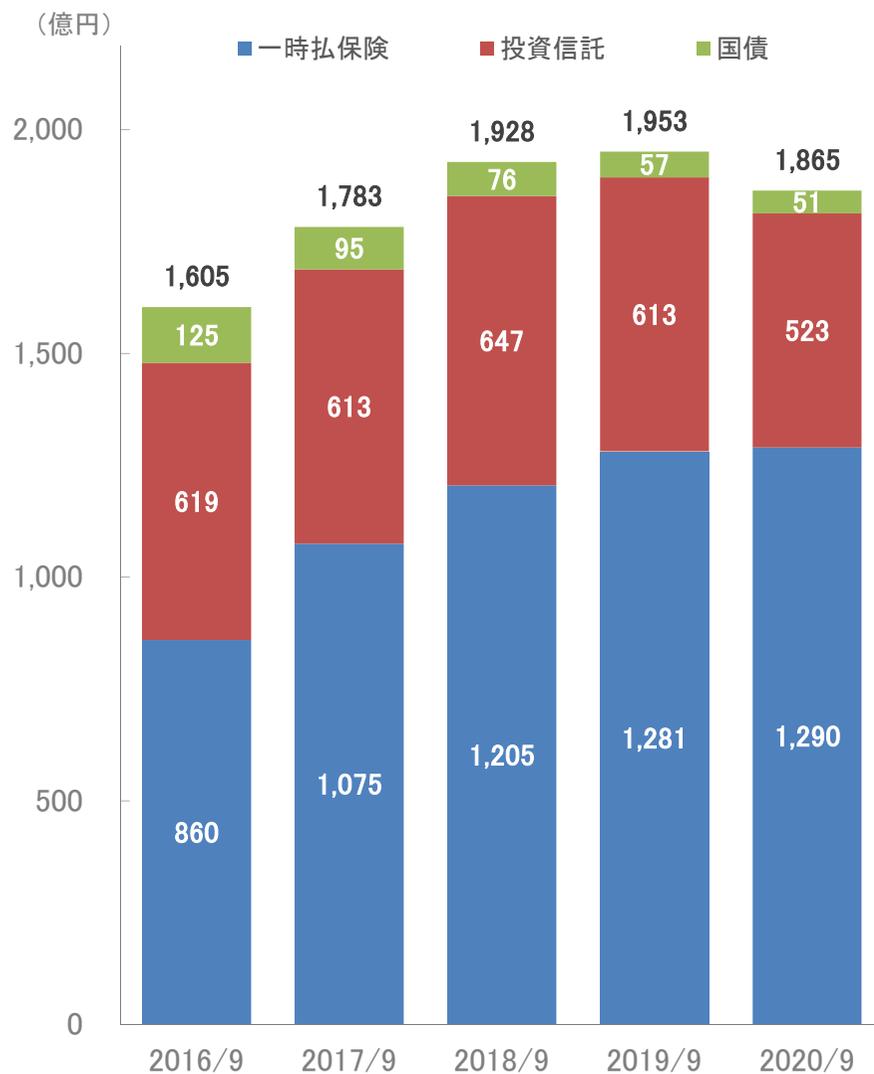
※ 9月は上期実績、3月は下期実績。

※1「その他」は、債務保証料、外為関連手数料、融資関連手数料、貸金庫、夜間金庫、代理貸付事務手数料等。
 なお、2019/9期及び2020/9期はATM関連(2020/9期▲12百万円)を「その他」に含めている。
 ※2「住宅ローン手数料」は、2019年10月から取り扱いを始めた新型住宅ローンにかかる手数料。

預かり資産

新型コロナの影響による対面活動の自粛により、投資信託の販売額は減少。

預かり資産残高



預かり資産販売額



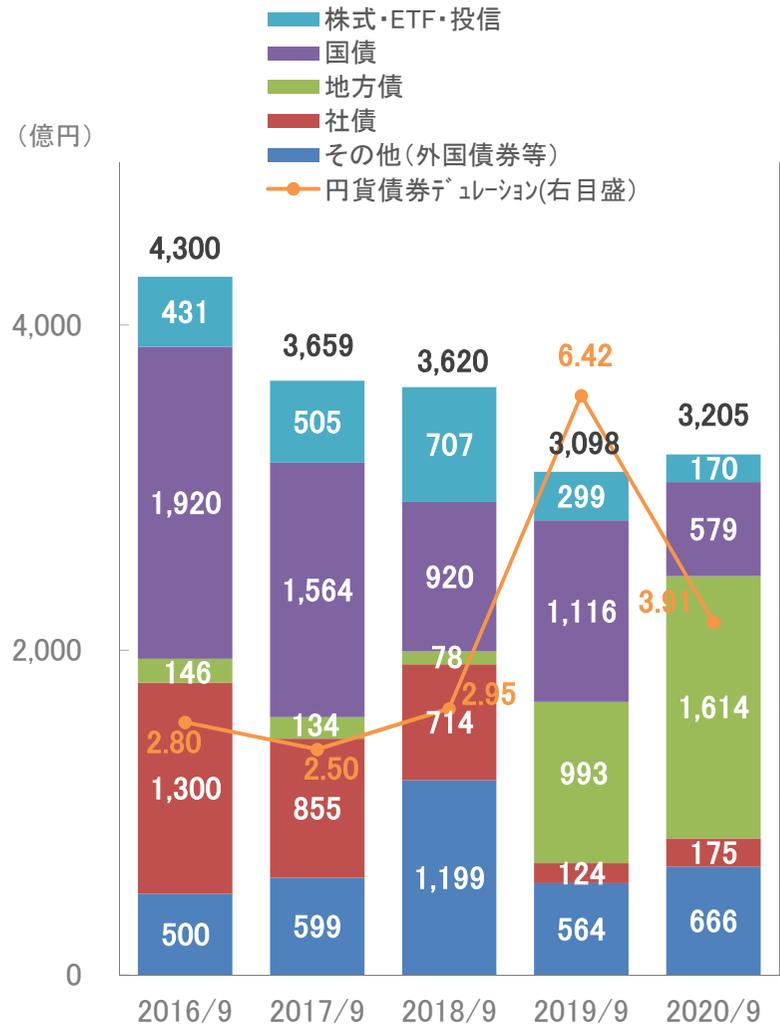
投資信託口座(残高有)数



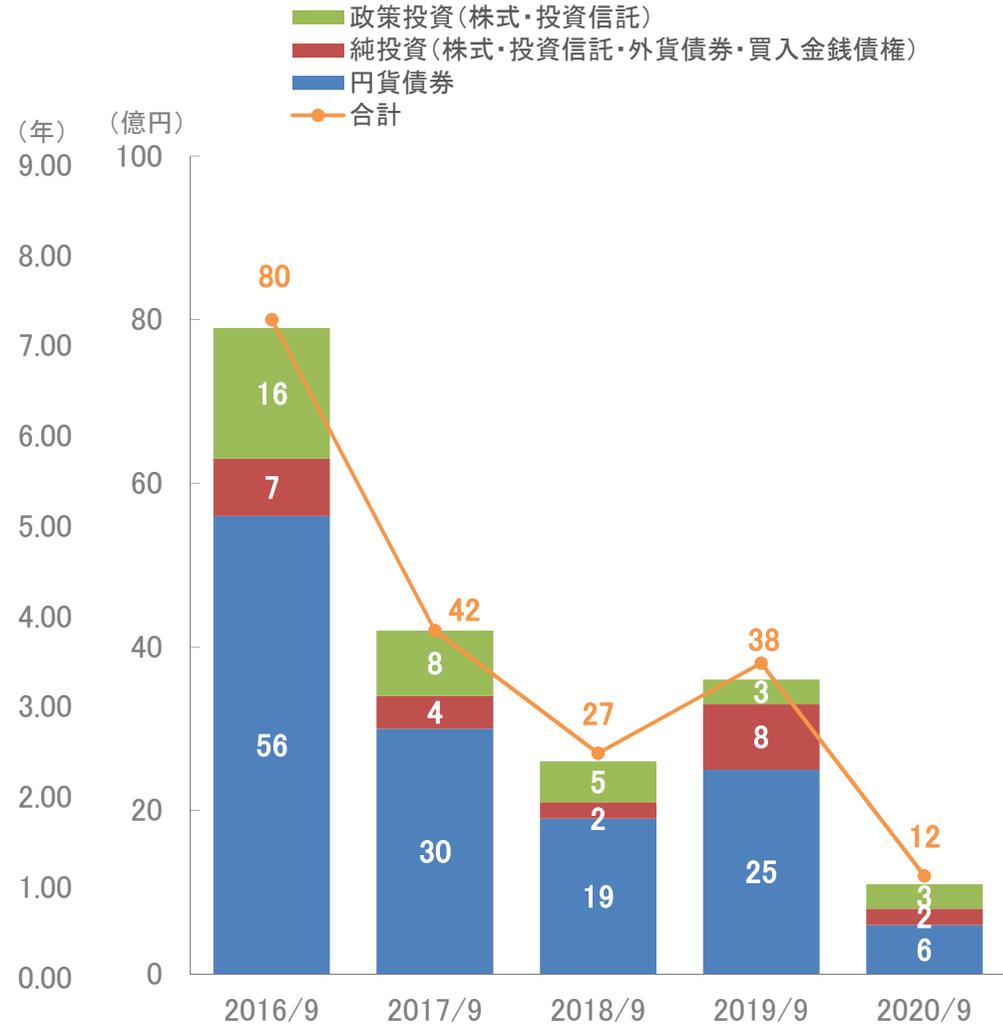
有価証券

金利変動リスクを回避するため長めの円貨債券を売却。デュレーション短縮化。

有価証券残高



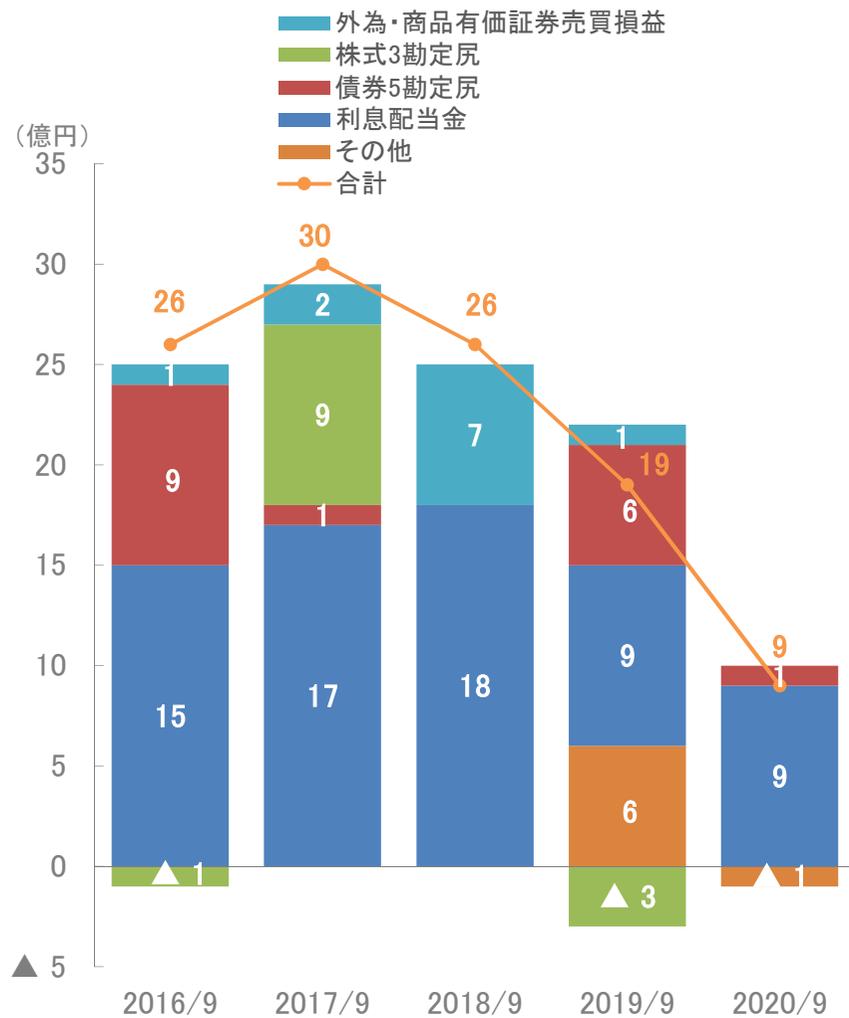
有価証券評価損益



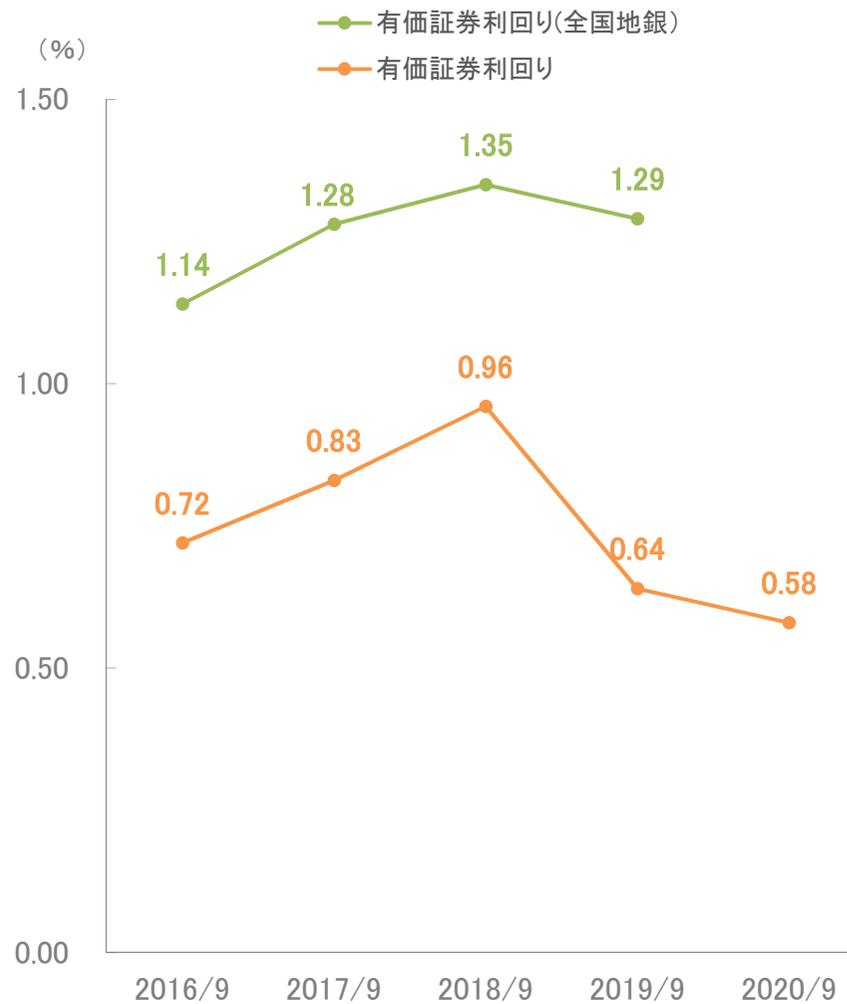
有価証券

当期純利益の減少見込みを受け、リスクオフの運用を徹底。

市場部門損益



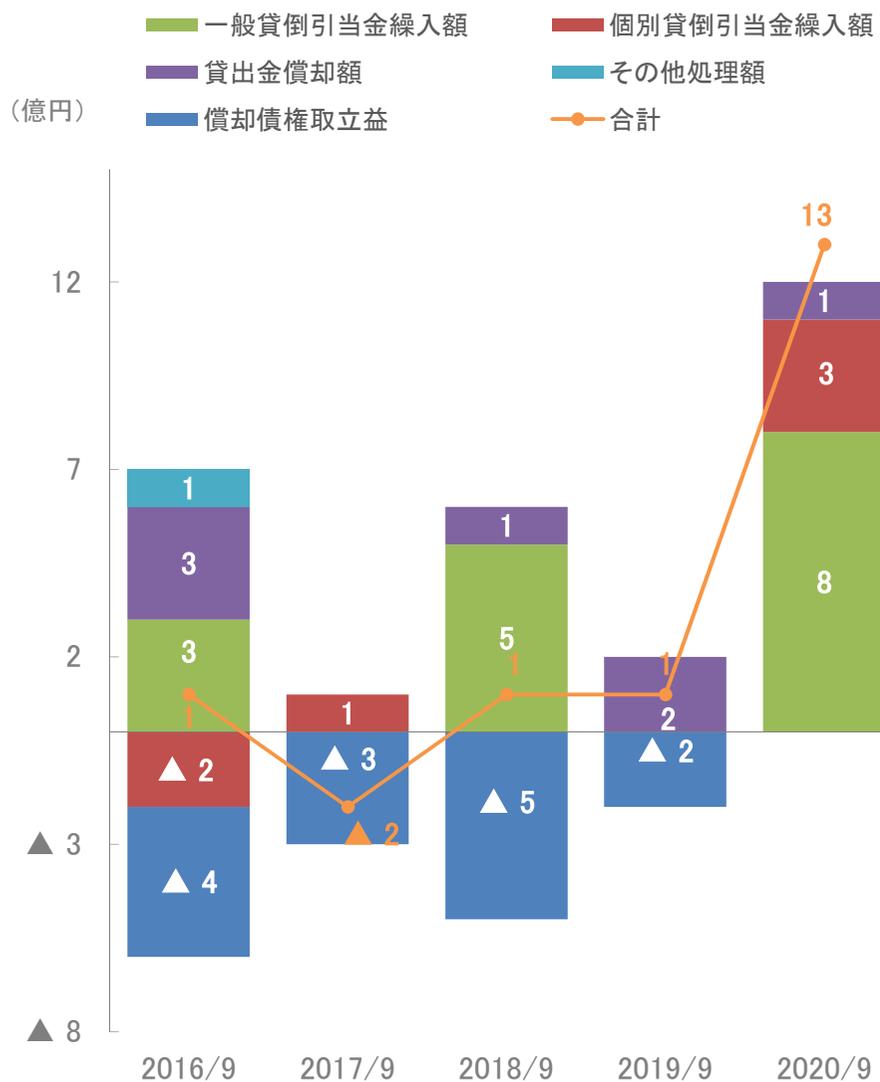
有価証券利回り



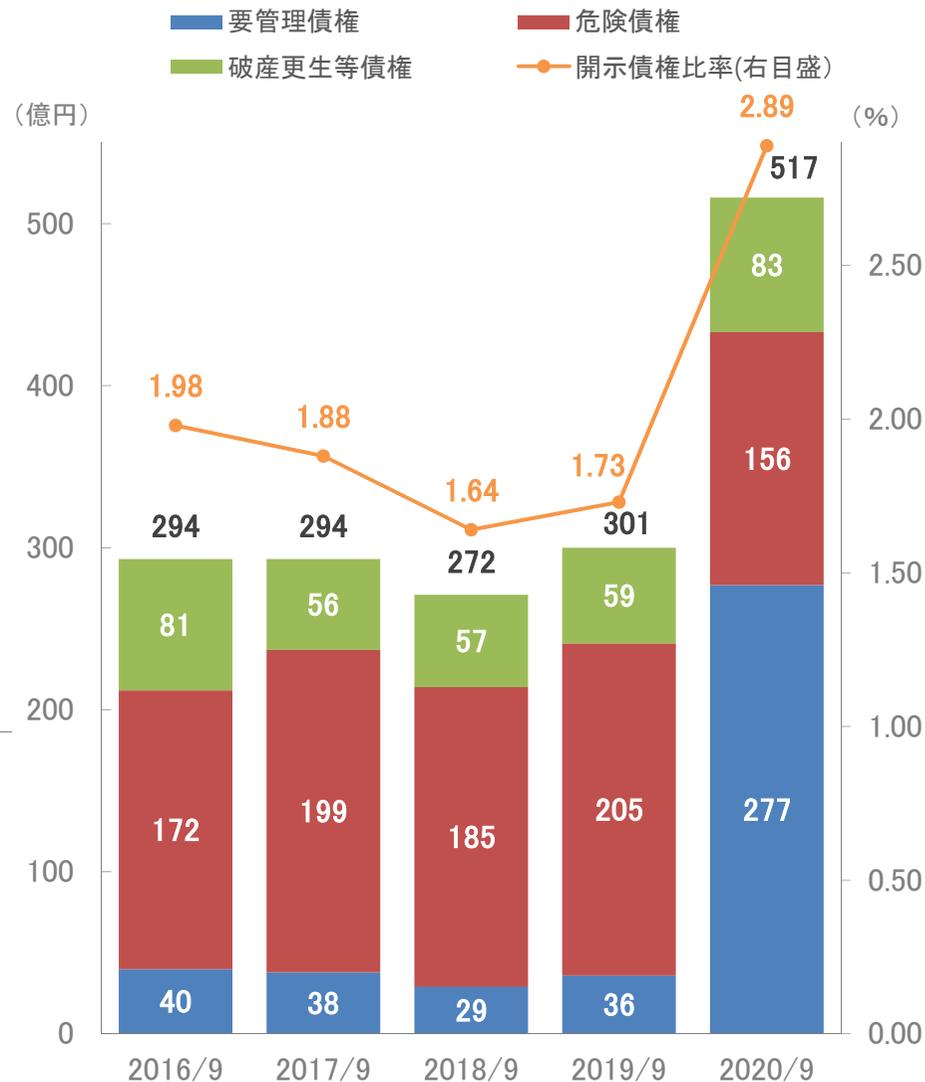
与信コスト・開示債権

今後の新型コロナの影響拡大に備え、一般貸倒引当金繰入額を大幅に積み増し。

ネット与信コスト

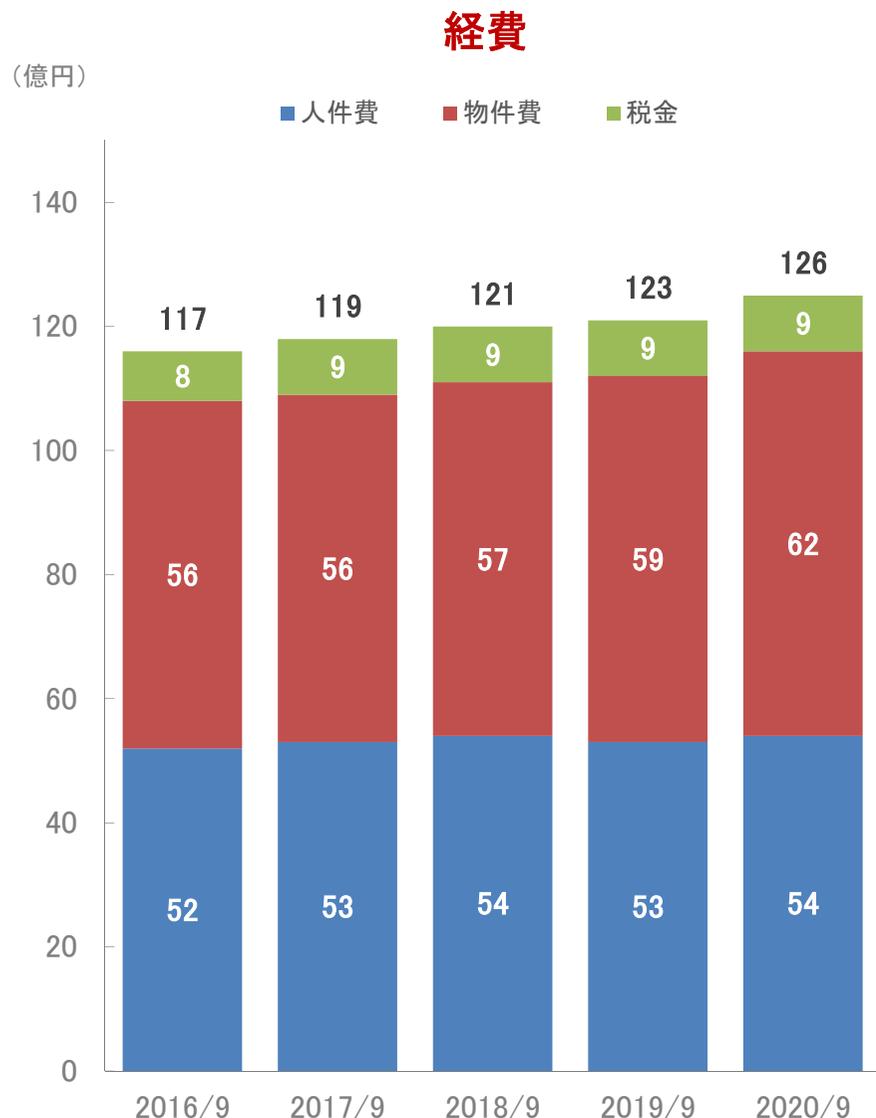


開示債権

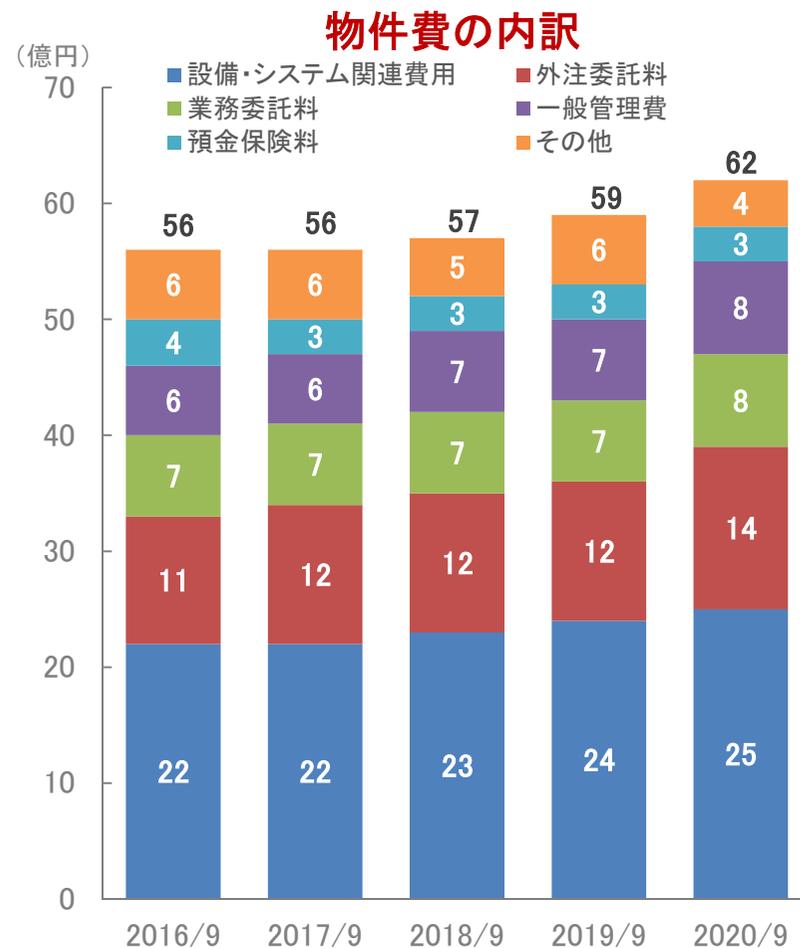


経費

システム関連費用などの物件費が増加。経費削減策の実行等により、次年度以降は減少見込み。



※ 人件費には退職給付に係る過去勤務費用および数理処理計算上の差異の損益処理分を含む。



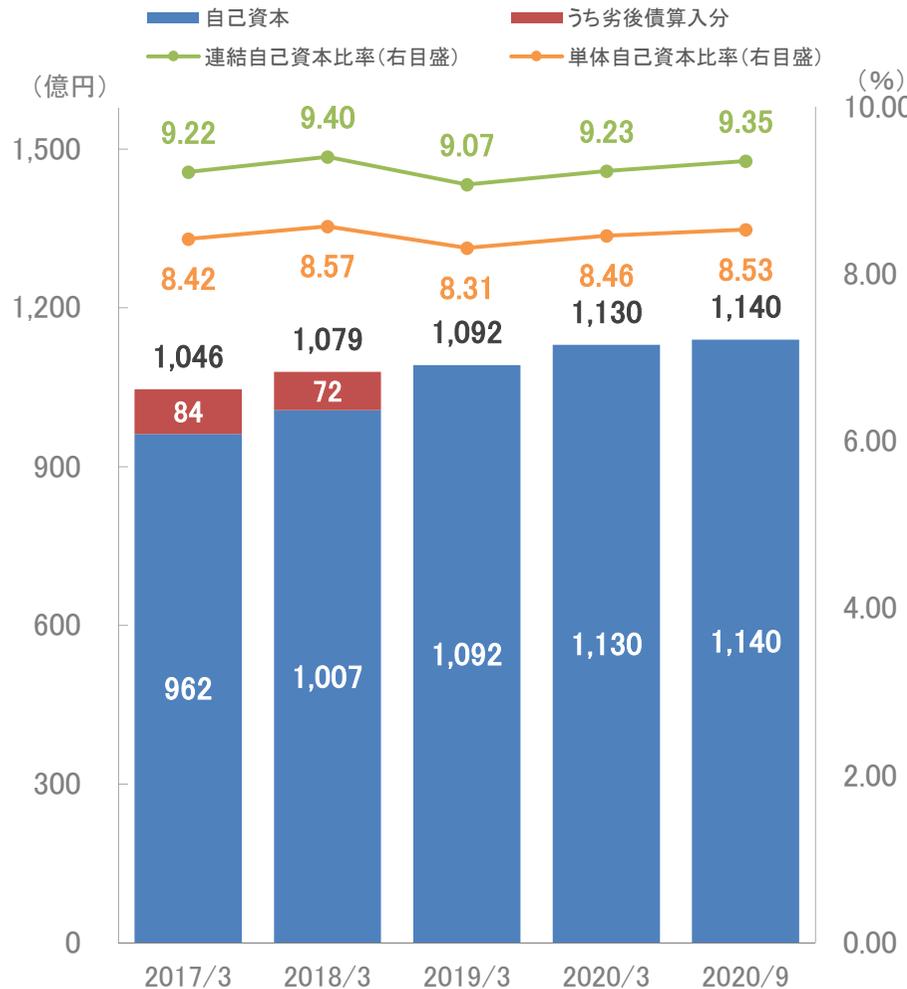
2020年度上期実施の主な経費要因

- 次世代営業店システム関連費用の増加
- カード加盟店関連費用の増加
- 本店移転関連建物償却費用等の増加

自己資本比率

利益、一般貸倒引当金の積み上げに加え、リスクアセットのコントロール強化により、自己資本比率は上昇。

自己資本額と自己資本比率

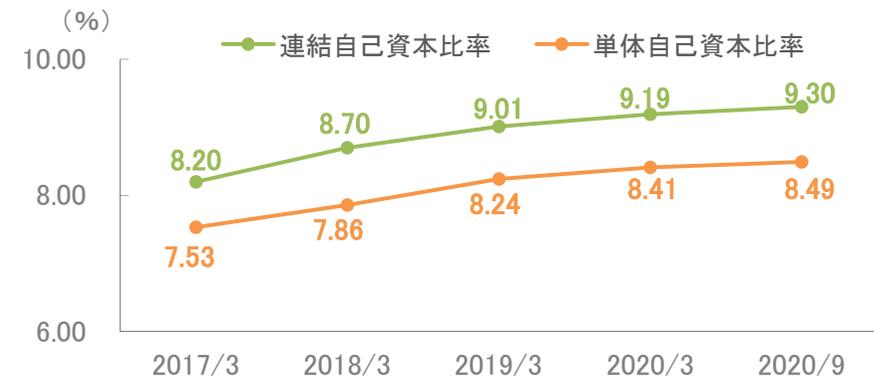


※ 2018/9に公募増資(56億円)を実施。2018/10に劣後債(120億円)を期限前償還。

リスクアセット



自己資本比率(バーゼルⅢ完全実施ベース)



※ 完全実施ベースの自己資本比率は、劣後債及び土地再評価差額金の資本算入額をゼロとし、無形固定資産及び前払年金費用の全額を資本調整額として全額計上するベースで算出。

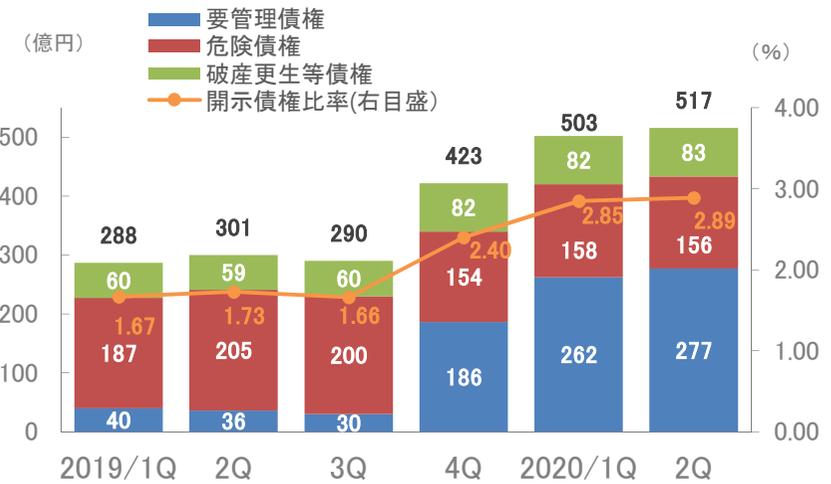
新型コロナ禍での事業者支援

経営環境の悪化に備え、一般貸倒引当金を積み増し。

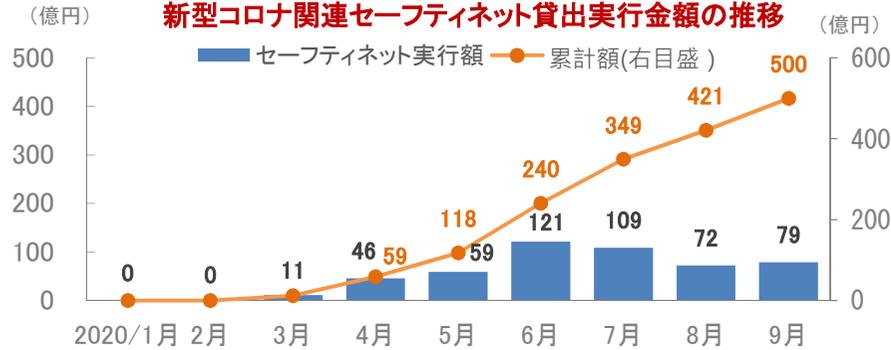
新型コロナ関連貸出条件変更実行金額の推移



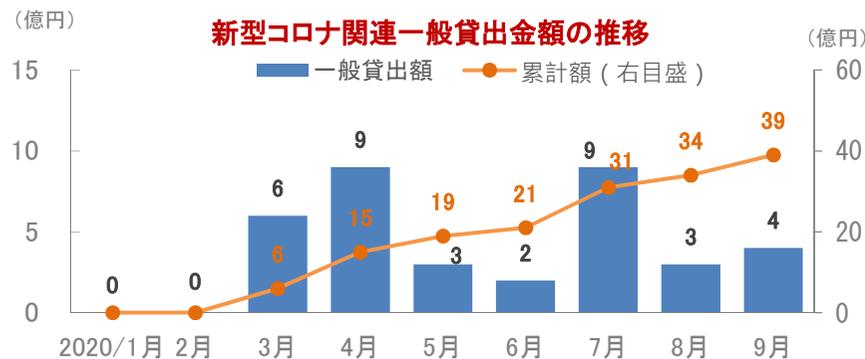
開示債権金額の推移



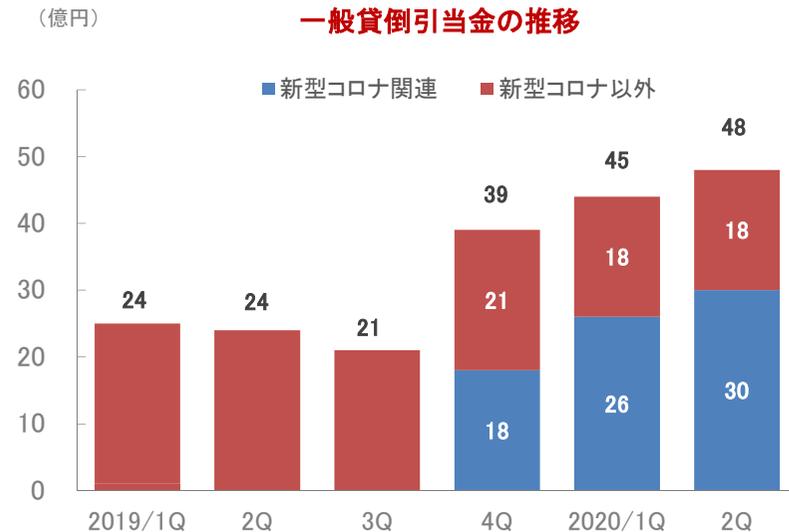
新型コロナ関連セーフティネット貸出実行金額の推移



新型コロナ関連一般貸出金額の推移



一般貸倒引当金の推移



2021年3月期業績の見通し

新型コロナの景況により、単体・連結ともに減益を予想（期初の予想から変更なし）。

単体

（億円）

| | 2021年3月期 | | 2020年3月期 実績 |
|-------|----------|-------|----------------|
| | 予想 | 前年同期比 | |
| 経常収益 | 395 | ▲29 | 424 |
| 経常利益 | 38 | ▲15 | 53 |
| 当期純利益 | 23 | ▲17 | 40 |

連結

（億円）

| | 2021年3月期 | | 2020年3月期 実績 |
|---------------------|----------|-------|----------------|
| | 予想 | 前年同期比 | |
| 経常収益 | 600 | ▲27 | 627 |
| 経常利益 | 50 | ▲19 | 69 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 30 | ▲19 | 49 |

※ 前年同期比は表上計算。

本資料について

本資料に係るお問い合わせ先

株式会社 琉球銀行 総合企画部

Tel : 098-860-3787
Fax : 098-862-3672
E-mail : ryugin@ryugin.co.jp

本資料は、お断りのない限り単体ベースのデータとなっています。

本資料は、公表データの作成要領に基づき、項目ごとに単位未満切捨てで表示しているため、項目ごとの値と合計とが合わない場合があります。また、資料中の計数は、説明・比較のために独自の定義を用いて算出している場合があります、必ずしも公表数値と一致しない場合があります。

本資料には、当行に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する情報（将来情報）が含まれています。これら将来情報は、あくまで2020年11月6日現在において入手可能な情報に基づいて判断されたものであり、将来の業績等を保証するものではありません。また、将来情報の記述には一定の前提・仮定を使用しておりますが、かかる前提・仮定は客観的には不正確であったり、将来実現しない可能性があります。その原因となるリスクや不確実性には様々なものが含まれますが、その詳細については当行の決算短信や有価証券報告書等をご参照ください。なお、当行は本資料に含まれる将来情報の更新はいたしません。